



絵本の紹介

～3歳未満児クラスで人気の絵本～

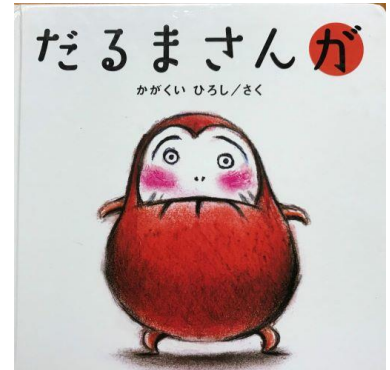


〈あいぐみ〉

『だるまさんが』 作：かがくい ひろし

出版社：ブロンズ新社

柔らかそうな丸くて赤いかたまりが、伸びたり縮んだり転んだり、目をつぶったり開いたり笑ったり。『だるまさん』っていう名前を知らない小さな子も惹きつけられています。とってもユーモラスだけどどこまでも優しさを感じる表情や、動きの愛らしさ。体を揺らしながら「だ・る・ま・さ・ん・が～」とページをめくると、子どもは大笑い。だるまさんが転ぶだけじゃないところに、大人も一緒に笑ってしまいます。読み聞かせするのが楽しくなりますよ！



〈うみぐみ〉

『おたすけおばけ』 作：左近蘭子 絵：島田コージ

出版社：フレーベル館

夜になるとおたすけおばけが困っている子どものお家へ行き、助けてくれます。パジャマのボタンの掛け間違いやトイレを流す音、電気を消す音など身近に行っていることやよく耳にする場面も描かれていて、子どもたちは間違いを見つけたり言葉を繰り返したりしながら楽しんでいます！また、うみ組子どもたちが一番大好きな場面は、最後散らかったお部屋をおたすけおばけが片付けようとするのですが、お母さんが片付けに来てしまい、おたすけおばけも一緒に片付けられるところです！おばけたちがどこに片づけられてしまったのか探すのが楽しいです！



〈はなぐみ〉

『くだもの だもの』 文：石津ちひろ 絵：山村浩二

出版社：福音館書店

「キウイ うきうき うきわで およぐ」「パパイヤの パパ パン やいた」などリズムカルな言葉が思わず真似をしたくなるような言葉が盛りだくさんで、子どもたちからは「もう1回読んで！」とリクエストが止まらないほどはな組で大人気な絵本です！果物のキャラクターがたくさんでてくるため、「この果物、給食にでたことあるね！」「これお家で食べたことあるよ！」と友達や保育者とやりとりを楽しむ姿も見られます！また、見たことのない果物でも「この果物どんな味かな？」と想像力を働かせながら考えるのも面白いです！

